

mRNA 脂質ナノ粒子製剤「ワクチン」接種後の健康被害の実態と ME/CFS に対するビタミンD 補充療養指導について

日時 2024年 8月17日(土)15時～

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室
神戸市中央区海岸通1-2-31神戸フコク生命海岸通ビル
(JR/阪神「元町」駅より南へ徒歩約8分)

講師 京都大学名誉教授

福島 雅典 先生

司会 西宮市 半田医院院長 **半田 伸夫** 先生



【講師ご略歴】

医学博士。1973年 名古屋大学医学部卒業。京都大学大学院、浜松医科大学助手、愛知県がんセンターを経て、2000年より京都大学大学院医学研究科教授。

2009年4月から（公財）先端医療振興財団臨床研究情報センター センター長、2020年12月より一般財団法人 LHS 研究所代表理事。

※コロナ「ワクチン」副作用
レビュー論文一覧はこちら
[http://www.mcl-corp.jp/
meditrans/review-articles/](http://www.mcl-corp.jp/meditrans/review-articles/)



人類医学史上、未曾有の惨禍（薬害）を引き起こした「ワクチン」すなわちmRNA-脂質ナノ粒子製剤接種による副作用は、ワクチン接種後症候群(post vaccination syndrome)として定義される新興医原病であり、侵される範囲は全臓器・器官系から精神に及び、臨床呈示としてはほぼすべての疾患を網羅する。それらの大半は「ワクチン」を取り込んだ細胞で生産されるスパイクタンパク質によって引き起こされる病理・病態として記述できることからSpikeopathy：スパイクタンパク症と包括して捉えることができる(lhsi.jp)。

本講演ではmRNA-脂質ナノ粒子製剤を「ワクチン」と称して、ほとんどの国民に接種したことによって何が起こったか・起こっているか、これからどうすべきか、臨床医学的観点から論ずる。あわせて、ワクチン接種後症候群と診断される患者さんの20%から30%が呈する筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群(ME/CFS) に対するビタミンD補充療養指導の効果(jsvrc.jp)について述べる。

(福島 記)

この件についてのお問い合わせは兵庫県保険医協会事務局(078-393-1840) 伊地知まで

来場参加お申し込み【FAX 078-393-1820】 切り取らずにご返信ください

市区町		お名前	
電話番号		医療機関名	

オンライン (Zoom 利用) による参加お申し込み

「Zoom」によりご自宅や医療機関等からご視聴いただけます。視聴希望される会員医療機関の方は、下記リンクまたは右のQRコードよりご登録をお願いします。

<https://x.gd/74BSy>

